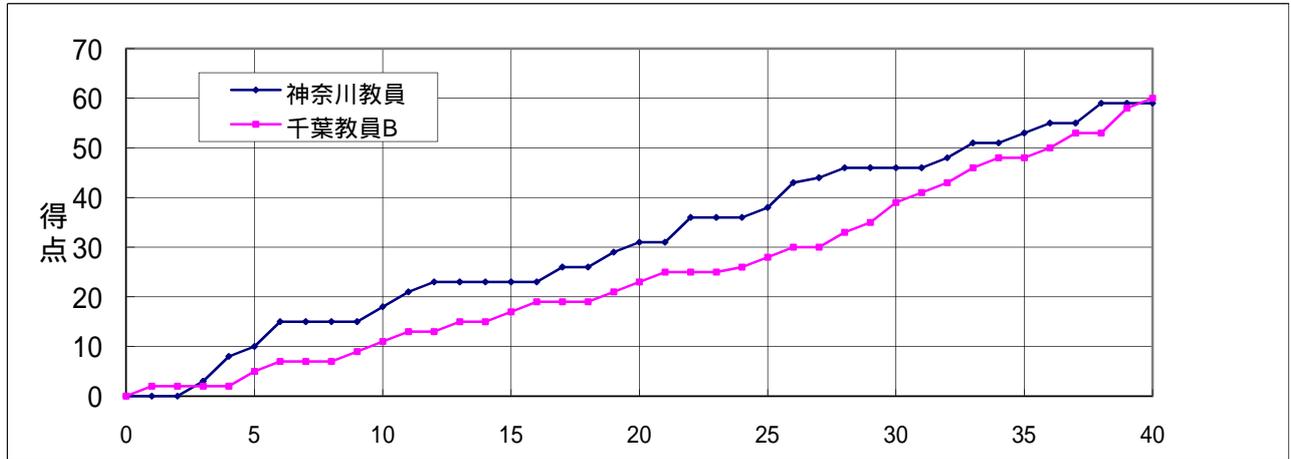


大会名	第48回男子・第40回女子 全日本教員バスケットボール選手権大会 <small>「おいでませ！山口国体バスケットボール競技リハーサル大会」</small>	10E4	15:15	女子2回戦														
		神奈川教員 59 <small>(神奈川県)</small>	60 <small>千葉教員B (千葉県)</small>	<table border="1"> <tr><td>18</td><td>-</td><td>11</td></tr> <tr><td>13</td><td>-</td><td>12</td></tr> <tr><td>15</td><td>-</td><td>16</td></tr> <tr><td>13</td><td>-</td><td>21</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>		18	-	11	13	-	12	15	-	16	13	-	21	-
18	-	11																
13	-	12																
15	-	16																
13	-	21																
-	-	-																
期日	2010年(平成22年)8月10日(火)																	
会場	下松スポーツ公園体育館																	

主審 有澤優子

副審 広崎博之



タイム・アウト(経過時間)					
1Q・2Q	3Q・4Q		OT1	OT2	
12:47	15:04	32:19	36:19	39:13	-

神奈川教員									
No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As	
4	* 吉田友美(C)	8	2	0	2	3	4	4	
5	松ヶ野文絵	-	-	-	-	-	-	-	
6	長谷川絵美	0	0	0	0	1	1	0	
8	* 小室早智	11	1	4	0	1	3	1	
11	立田悠侑子	7	0	2	3	3	10	1	
12	* 小川佳代子	6	0	2	2	2	7	2	
13	岩本涼子	-	-	-	-	-	-	-	
14	畑中優	-	-	-	-	-	-	-	
15	窪田奈津子	-	-	-	-	-	-	-	
17	* 清水麻衣	23	7	0	2	0	12	1	
18	* 守屋智美	4	0	2	0	3	4	0	
コーチ 長谷川 絵美									
合計		59	10	10	9	13	41	9	

タイム・アウト(経過時間)					
1Q・2Q	3Q・4Q		OT1	OT2	
17:54	-	25:14	35:39	38:00	-

千葉教員B									
No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As	
4	* 松原真帆(C)	7	1	2	0	1	10	1	
5	* 森谷友香	10	0	4	2	0	8	0	
6	* 建部弘美	12	0	5	2	2	9	1	
7	内藤可奈子	4	0	2	0	2	2	6	
8	* 野口祐子	5	1	1	0	1	4	3	
9	* 佐藤仁美	6	0	3	0	2	0	0	
10	山崎友紀	0	0	0	0	0	0	0	
11	福本ゆり子	4	0	1	2	3	2	0	
12	越川瑞紀	12	2	3	0	2	2	0	
13	小島杏菜	0	0	0	0	1	4	0	
コーチ 三好左希子									
合計		60	4	21	6	14	41	11	

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

両チームともハーフコートマンツーマン。序盤はシュートが決まらない。神奈川#17の3Pで試合は動き始めるが、両チームともボールが手につかない。千葉はフォーメーションが思うような形にならない。そこを神奈川は#17の3Pやフリースローで一気に差を広げる。千葉は交代を繰り返しながら修正を図るがリズムを作れず18-11で1Q終了。2Qも千葉はパスミスなどで流れに乗れない。神奈川は3Pを決めていく。両チーム、トラベリングやパスミスが相次ぐ中、千葉はインサイドを攻め加点。一気に流れは千葉へ。オフェンスの形も決まりですが、要所で神奈川#17の3Pが流れを引き戻す。31-23の8点差で前半終了。3Qに入っても千葉の勢いはそのまま。リバウンドを確実にものにし、インサイドを攻め、守る神奈川はファールが多くなる。しかし、後半は千葉にファールがかさむ。確実にフリースローを入れる神奈川に対し、千葉は入らない。差は縮まらず3Q46-39の7点差。4Q開始から千葉の勢いが爆発。オフェンスリバウンド、ターンオーバーで得点。さらに千葉#12の3Pでたまたま神奈川はタイムアウト。48-46の2点差。ここでも神奈川#17が3Pで勢いを断ち切るが、インサイドを固める千葉のディフェンスに神奈川はボールが回らない。そこを立って続けに千葉#6が得点。終了1分前に千葉#4の3Pと2Pで千葉が逆転。最後まで集中を途切らせなかった千葉が1点差を守りきり、59-60で勝利。

記載者 大和 修 (所属) 山口県バスケットボール協会